

- 1 旋盤とは、工作物を主軸に取り付け、切削工具を回転させながら加工を行う工作機械である。
- 2 導体に流れる電流の大きさは、加えた電圧に比例し、導体の抵抗に反比例する。
- 3 2極と4極の三相誘導電動機を同じ電源で使用する場合、4極の回転数は2極の回転数の2倍になる。
- 4 三相誘導電動機は、3本の電源線のうち、いずれかの2本の接続を入れ替えると回転方向が逆になる。
- 5 事後保全とは、設備に故障が発見された段階で、その故障を取り除く保全活動である。
- 6 予防保全には、劣化を防ぐ活動、劣化を測定する活動、劣化を回復する活動の3つがある。
- 7 ウォータハンマ(水撃現象)の発生を防止する方法の1つとして、弁をできるだけ急速に閉めることが挙げられる。
- 8 歯車の伝達トルクに脈動が起きた場合には、歯車のバックラッシュを大きくする。
- 9 パレート図は、設備故障の低減活動の優先付けをするときなどに用いる。
- 10 特性要因図とは、特性(結果)に対して、その要因を体系付けられるように図で表現したものである。
- 11 ステンレス鋼は、鉄鋼にニッケル(Ni)と亜鉛(Zn)を加えて性質を改良したものである。
- 12 S20Cの炭素含有量は、約0.2%である。
- 13 焼なましとは、材料を適切な温度に加熱し、短時間で冷却することをいう。
- 14 ボール盤作業では、必ず手袋を装着する。
- 15 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の「整頓」とは、必要なものと不要なものを区分し、不要なものを置かないことをいう。

- 16 ローラチェーン伝動は、ベルト伝動に比べて、滑りがなく、大きな動力を伝達できる特徴がある。
- 17 ねじの呼び径とは、ねじ山とねじ溝の幅が等しくなるような仮想的な円筒の直径のことである。
- 18 測定範囲が0～25 mmの外側マイクロメータを格納するときは、アンビルとスピンドルを密着させておく。
- 19 一般的に、空気圧配管からのエア漏れ発見には、石鹼水の塗布が有効である。
- 20 グリースは、ちょう度が大きいほど硬い。
- 21 タップは、おねじを切る切削工具である。
- 22 被覆アーク溶接は、電極にタングステンを、シールドガスにイナートガスを用いて行う。
- 23 一般的に、空気圧の応答性は、油圧に比べて劣る。
- 24 作動油は、石油系作動油、合成系作動油などに分類される。
- 25 作動油が白濁する原因として、水分の混入が考えられる。
- 26 セラミックスとは、石油や天然ガスから作られる合成樹脂のことである。
- 27 ショットピーニングとは、金属の表面に球形に近い硬質粒子を高速度で打ち当てることによって、表面を加工硬化させる加工法である。
- 28 物体の運動エネルギーは、速度が2倍になると2倍になる。
- 29 材料力学において、安全率とは、材料の基準強さを許容応力で除した値のことである。
- 30 しまりばめとは、穴の最小許容寸法より軸の最大許容寸法の方が小さいはめあいのことである。